

サテライト接続とは

"サテライト接続"とは、フルレンジのスピーカーをサテライト端子を介してサブウーファーと接続する方法のことをいいます。これにより、アンプの使用チャンネル数を最小限に抑えてシステムを組むことが可能となります。サテライト接続時にはハイパスフィルターが設定されるため、サテライトスピーカーとサブウーファーが理想的な周波数特性でつながります。

推奨サテライトスピーカー

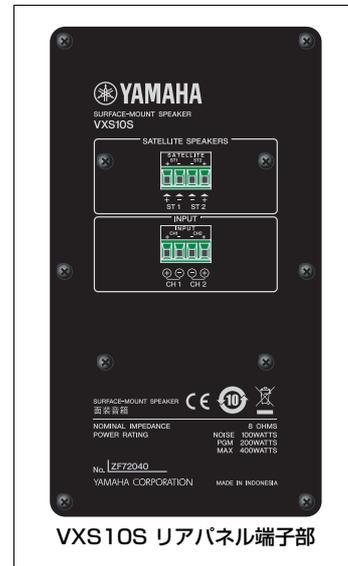
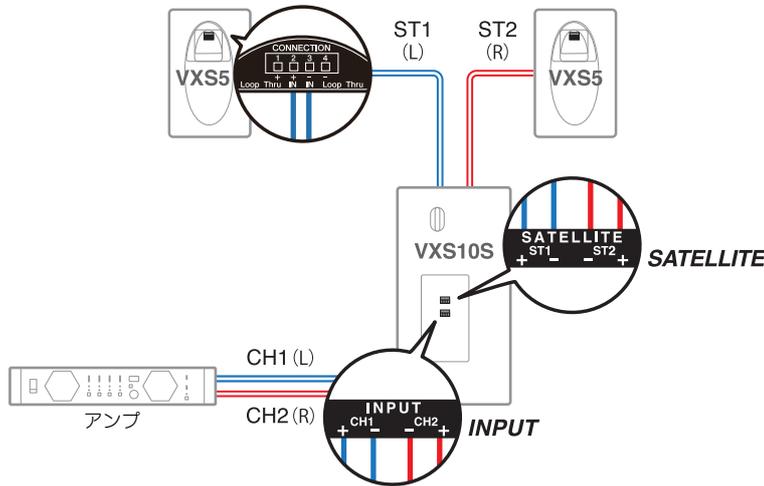
- サーフェスマウントスピーカー VXS5/VXS5W
- シーリングスピーカー VXC4/VXC4W, VXC6/VXC6W

※ 本ガイドでは、VXS5 を事例に説明します。

接続例

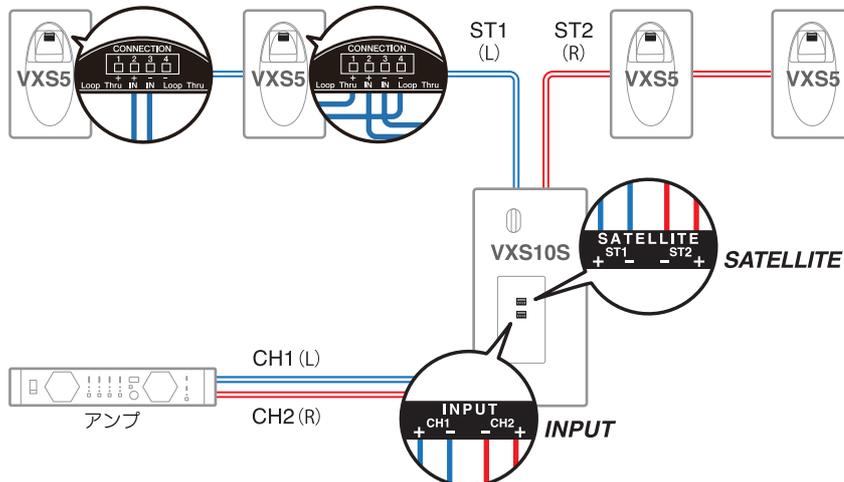
VXS10S + VXS5 2本 (ステレオシステム)

ステレオ再生を行う場合の基本システムです。



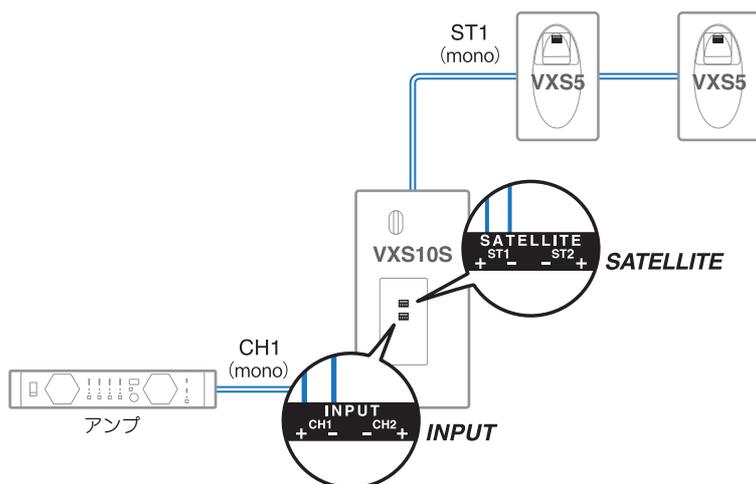
VXS10S + VXS5 4本 (ステレオシステム)

ステレオ再生を行う場合で、より広いスペースをムラなくカバーするシステムです。



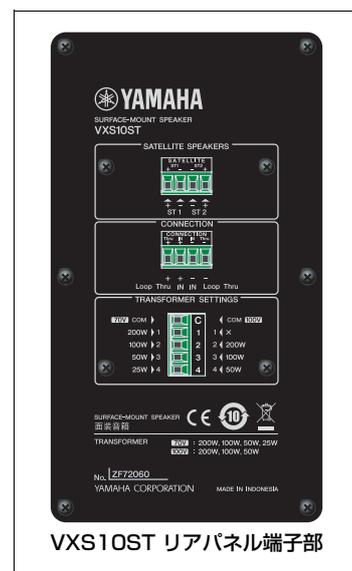
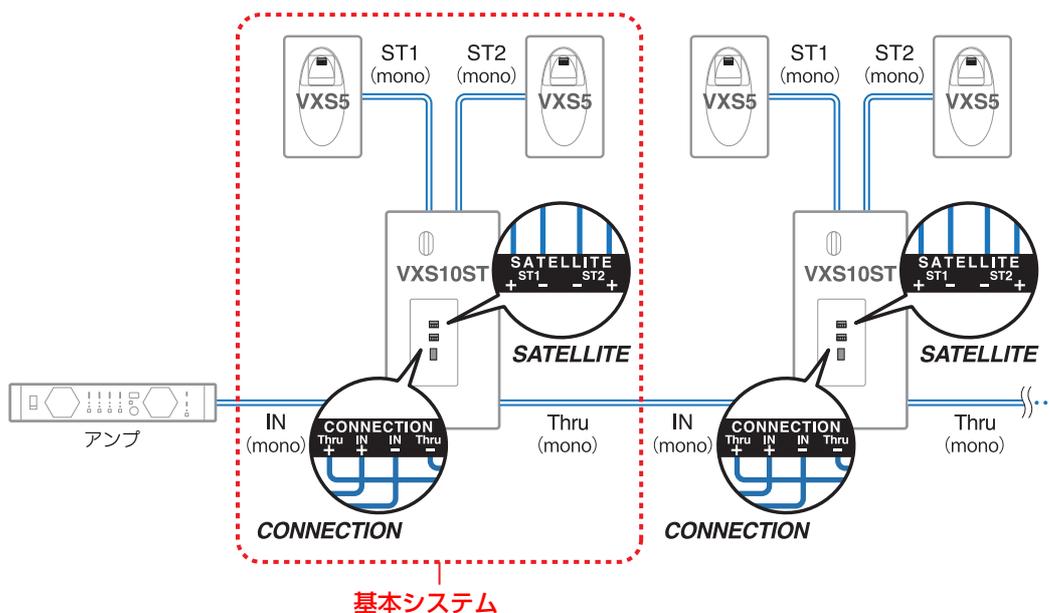
VXS10S + VXS5 2本 (モノラルシステム)

モノラル再生を行う場合のシステムです。このシステムでは、出力音圧レベル等の実力値はスペックシート上の値と異なる場合があります。



VXS10ST + VXS5 2本 (モノラルシステム)

サブウーファーでハイインピーダンス接続をする場合のシステムです。Thru 端子を使うことで基本となるシステムを拡張することができます。一つのアンブチャンネルで複数のサテライトシステムを構築できます。



サテライトスピーカー接続時の注意点

サテライト出力端子はローインピーダンス仕様です。サテライト接続時は、VXS5のタップを「8Ω」に合わせてご使用ください。

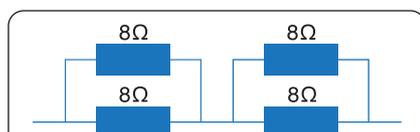
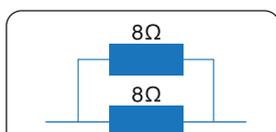
■ VXS10S

ST1/ST2 各々の端子において、サテライトスピーカーの合成インピーダンスが 4Ω 以上 になるように接続してください。

■ VXS10ST

ST1/ST2 各々の端子において、サテライトスピーカーの合成インピーダンスが 8Ω 以上 になるように接続してください。

合成インピーダンスの例



※ ■ : スピーカー